

## 「どうやってみをまもるのかな」調べ学習 「どうぶつクイズ」作成

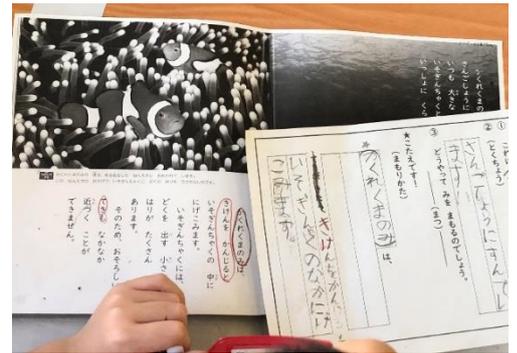
実施日 令和6年7月4日(木)

対象 小学校1年生

所要時間 45分(準備時間含まず)

教科・教材名 国語

単元名 「どうやってみをまもるのかな」



書き込みをした資料と転記したワークシート

目的・ねらい

- 児童が、資料の中から自分で調べたい動物を選ぶ。
- 調べ学習の成果をもとにした「どうぶつクイズたいかい」を実施する。

学校図書館活用のポイント

- 学校司書は、事前並行読書用資料を準備(団体貸出・自館収集)する。
- 学校司書は、授業者へ児童が調べやすい資料のレファレンスをする。
- 学校司書は、図書館での調べ学習時の児童へのサポートを行う。

必要なもの

- クイズ作成用ワークシート(授業者作成)
- クイズ作成用資料1人1部(学校司書が参考文献のコピーを作成)
- 図書館の机の上に置く「どうぶつ名カード」(学校司書作成)

参考文献

- 『教科書にでてくる生きものをくらべよう4 てきからみをまもるちえ』学研プラス, 2020年, ISBN 9784055013246

当日までに行うこと

- 授業者:児童が調べたい動物の種類と希望人数を集約し、学校司書に連絡する。
- 学校司書:調べ学習用資料を1人1部ずつ上記参考文献からコピーし、児童名を記入する。  
同じ動物を調べるグループごとに図書館の机を決め、机に「どうぶつ名カード」を置く。

実践内容	物品	留意点
〈提案〉 5月中旬 学校司書から授業者へ、国語単元「どうやってみをまもるのかな」学習時の事前並行読書用資料や調べ学習用資料準備の可否を問い合わせる。		単元学習の1ヵ月半前頃を目安に授業者へ声がけする。

<p>〈相談〉 5月～6月 授業者クラスの図書の授業利用時・放課後等に行った。 学校司書も単元授業計画・指導案を授業者と共有した。</p>		
<p>〈準備〉 5月 学校司書は、港図書館へ事前並行読書用資料・調べ学習用資料の団体貸出依頼を行う。 6月 学校司書は、事前学習用資料を自館で収集し、団体貸出資料と併せてブックトラックで教室へ運び、朝の読書タイムや休み時間に読めるよう準備する。 単元学習期間中の図書の時間に、学校司書が、並行読書の読み聞かせを行う(『どうやってねるのかな』『だれのこどもかな』(やぶうちまさゆき/福音館書店/1987))、『あぶない！どーする？』(穂高順也/岩崎書店/2020)、『いちにちどうぶつ』(ふくべあきひろ/PHP 研究所/2013))。 授業者が、今回の調べ学習に使う資料を『教科書にでてくる生きものをくらべよう4 てきからみをまもるちえ』(以下「参考文献」)に決定する。 7月 授業者は、教室で参考文献の中から誰がどの動物を調べるのかを集約し、学校司書に伝える。 学校司書は、参考文献をコピーして1人1部の資料を準備し、児童名を記入する。 学校司書は、同じ動物を調べるグループごとに座る図書館の机を決定し、机の上に置く「どうぶつ名」を書いたカードを作成し、授業前に机の上に置く。</p>	<p>図書館にホワイトボードとマーカーを準備する。</p>	<p>団体貸出依頼票 FAX後にTELにて港図書館の担当職員と授業意図や児童の読書レベル等の打ち合わせを行う。</p>
<p>〈実践〉 ① 学校司書は、図書館来館児童を各自の席に誘導する。 ② 学校司書は、ワークシート作成のサポートを行う。</p>		
<p>〈結果／児童生徒・教職員の反応〉 児童 ● 自分で選んだ好きな動物を調べるのは楽しかった。 ● 知らないことがわかった。またやりたい。 ● 調べた結果を『クイズたいかい』でみんなに知らせることができてよかった。 授業者 ● 1年生の1学期で資料からの抜き書きがここまでできるとは期待以上だった。 ● 2学期には『いろいろなふね』で、3学期には『子どもをまもるどうぶつたち』で、段階的に資料の選び方や調べる内容を深めた調べ学習を積み重ねていきたい。</p>	 <p>どうぶつクイズたいかい</p>	